

Data(2018 年 6 月現在)

所在地: 〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16

スタッフ: 大巻悦子(教授), 富田久子(講師), 関口敏彰(講師)

URL <http://www.morinomiya-u.ac.jp>



森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、2007 年に保健医療学部として理学療法学科、鍼灸学科を設置して開学しました。2011 年に看護学科を設置し、以後、作業療法学科、臨床検査学科、大学院保健医療学研究科、助産学専攻科を開設、さらに 2018 年 4 月に臨床工学科、大学院博士後期課程が加わった医療系総合大学です。大学の特徴を生かし、多学科連携型「チーム医療教育」の一環として、各学科 3 年生が全員で多職種連携教育(IPE)に取り組んでいます。保健師教育は選択制(10 人)で、4 年間の卒業生 40 名中 14 名が保健師として各分野で活躍しています。

Education

どのような教育をしていますか？

公衆衛生看護学領域の講義は 2 年生から「公衆衛生看護学概論」「健康教育論」「公衆衛生看護活動論 I・II」が始まり、3 年生で「公衆衛生看護管理論」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護活動論 III(学校保健・産業保健)」「公衆衛生看護活動論 IV」「公衆衛生看護学演習」、4 年生で公衆衛生看護学実習(産業保健・学校保健・行政保健・障害者保健)を学びます。特に、障害者保健に関する実習は、知的・精神などに障害のある人々の地域での暮らしや就労支援を総合的な観点から学び「障害とは何か」

を学生自身が内省する機会となるよう取り組んでいます。潜在的健康課題を考えられる保健師教育を目指しています。

Research

どのような研究をしていますか？

公衆衛生看護学領域として教育実践に関する教育的評価に取り組んでいます。また、各教員は「介護予防(認知症予防)効果の検証」「東日本大震災後のボランティア活動に関する研究」「保健師による継続支援」「聴覚障害者に関する研究」「地域在住高齢者の健康寿命延伸に資する腎機能保持を考慮した栄養摂取量の検討」「子ども虐待の予防効果の検証」などのテーマに取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

保健所主催の研修会の講師、市町村保健センターからの業務研究指導、学校現場からの授業を担い、介護保険審査会等に携わっています。また、看護学科地域連携推進委員会主催の「子育て支援教室(もりもりひろば)」「介護予防教室(ほほえみクラブ)」に関わり、地域住民の皆さまに保健師課程学生の健康教育の場として協力をいただいています。さらに地域断酒会のご理解・ご協力のもと、学生が断酒会に参加させていただき、アルコール依存症関連問題を考えるきっかけにつながっています。

ひとこと

大阪を知る人でも、本学が JR 大阪環状線森ノ宮駅にあると思っている方が多いです。実際は大阪市南港の海の近くにあり屋上からは海が見え、時折船の汽笛が聞こえます。この小さな大学で教員の経験を活かした「保健師 mind」を伝えつつ、歯止めのかかない少子化問題、高齢者と介護問題など、社会情勢に鑑みて地域の健康課題を考えられる保健師育成を目指したいと思っています。

……大巻

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp